



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社ランディックス 上場取引所 東
コード番号 2981 URL <https://landix.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）岡田 和也
問合せ先責任者（役職名）取締役コーポレート部門管掌（氏名）松村 隆平（TEL）03-6420-3432
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,680	77.7	1,039	756.3	988	947.0	643	—
2025年3月期第1四半期	3,758	△2.4	121	△67.0	94	△73.1	57	△77.5

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 643百万円（—％） 2025年3月期第1四半期 57百万円（△77.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	113.45	112.62
2025年3月期第1四半期	10.23	10.17

（注）1. 当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（注）2. 2026年3月期第1四半期の「親会社株主に帰属する四半期純利益」及び「包括利益」の対前年同四半期増減率は、1,000％を超えるため、「—」として記載しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	21,539	8,768	40.7
2025年3月期	21,794	8,345	38.3

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 8,768百万円 2025年3月期 8,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	78.00	78.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	21.00	—	21.00	42.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

（注）2. 配当予想の修正については、本日公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

（注）3. 当社は2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり年間配当金は、2025年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載し、2026年3月期（予想）については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期（予想）の1株当たり年間配当金は84円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	18.4	2,540	12.4	2,300	8.9	1,490	6.1	262.84

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（注）2. 2026年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記した株式分割を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は525円68銭となります。

（参考）様々な不確定要素に起因した販売進捗の変動可能性等に鑑み、通期のみの業績予想の開示としております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	5,669,586株	2025年3月期	5,669,586株
2026年3月期1Q	756株	2025年3月期	756株
2026年3月期1Q	5,668,830株	2025年3月期1Q	5,665,238株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首も当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調となっているものの、物価上昇による自動車、家電等の耐久財、食品関連の個人消費が伸び悩み、一方でサービス消費は外食産業を中心に堅調となっているに加え、インバウンド需要も継続増加している等、一進一退の状況となっております。海外についても、米国の関税政策（所謂トランプ関税）や、不安定な中東情勢（イスラエル・イラン紛争）など今後も先行き不透明な状況が続くものと思われます。

また、日本の不動産投資市場については、2025年1月から3月の日本の不動産投資額は前年同期比23%増の2兆952億円となり、都市別では東京が世界1位（注）の不動産投資が行われた都市となる等、東京の不動産に対する国内富裕層、海外資産家層、及び投資家からの購入意欲は依然として高く、当第1四半期連結累計期間においても活発な不動産売買が続いております。

このような状況の中、当社グループが属する不動産住宅市場におきましては、日銀が政策金利を据置く方針であることから住宅ローン金利の低位安定が続く見込みとなり底堅く推移した一方で、土地価格や建築資材の高騰、建設労働者不足による解体・建築作業コストの増加の影響等により、戸建住宅の着工件数は減少傾向にあります。加えて、省エネ基準適合義務化などの法改正前の駆け込み需要で、2025年3月は前年同月比39.1%増と大幅に増加しましたが、その反動で4月以降の住宅着工件数は大幅に減少しております。このような環境の中で、当社では「唯一無二の豊かさを創造する」の経営理念のもと、積極的な若手人材採用と育成により、新規顧客アプローチの量と質を向上させるとともに、既存顧客に対する長期的なサポート及び丁寧な提案を行っております。これにより、住宅用地の仕入れから販売までの期間（回転期間）も前期同程度の良好な水準を維持し、約30%という高い紹介・リピート率も維持継続しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,680,941千円（前年同期比77.7%増）、営業利益は1,039,263千円（前年同期比756.3%増）、経常利益は988,510千円（前年同期比947.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は643,135千円（前年同期比1,009.6%増）となりました。売上につきましては通期業績目標に対して27%程度の進捗となっております。各段階損益は通期業績目標に対して40～43%程度の進捗となっております。これは収益物件等の大型物件の販売が好調であったものです。第2四半期連結会計期間以降につきましては、期中に仕入を行った住宅用大型物件の引き渡し、及び期首より見込み済の収益シリーズの販売により通期業績目標の達成を目指します。

（注）ジョーンズラングラサル株式会社調べ（ジャパンマーケットダイナミクス 2025年第一四半期）。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① sumuzu事業

sumuzu事業においては、富裕層顧客からの口コミ紹介・リピートに加え、自社メディアやSNSの活用により幅広くアプローチしたことで、不動産取扱件数を伸長することができました。加えて、戦略的な人員増強により社員1人当たりの売上高、営業利益が大幅に増え、前年同期比で利益が増加しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,651,527千円（前年同期比78.2%増）、セグメント利益は1,159,512千円（前年同期比431.3%増）となりました。

② 賃貸事業

賃貸事業においては、安定した市況の中、既存の賃貸用不動産が前連結会計年度より引き続き順調に稼働しており、大型修繕をおこなったものの、前年同期比で売上、利益は増加しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は29,129千円（前年同期比14.2%増）、セグメント利益は14,275千円（前年同期比102.9%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、254,608千円減少の21,539,650千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ、251,537千円減少の18,486,460千円となりました。これは主に現金及び預金が761,667千円、流動資産のその他に含めている前渡金が168,220千円増加した一方で、棚卸資産が1,223,081千円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ、3,071千円減少の3,053,190千円となりました。これはのれんが1,682千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、676,659千円減少の12,771,621千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ、566,758千円減少の9,920,491千円となりました。これは主に短期借入金が784,854千円増加し、1年内返済予定の長期借入金が1,358,199千円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、109,901千円減少し2,851,129千円となりました。これは主に長期借入金が157,862千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、422,051千円増加の8,768,028千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が643,135千円増加した一方で、配当金の支出により利益剰余金が221,084千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました予想から変更はありません。業績予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,160,378	6,922,045
棚卸資産	12,198,486	10,975,404
その他	379,132	589,009
流動資産合計	18,737,997	18,486,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,000,224	1,000,224
減価償却累計額	△191,858	△200,544
建物及び構築物（純額）	808,366	799,680
車両運搬具	28,511	28,511
減価償却累計額	△22,193	△22,719
車両運搬具（純額）	6,318	5,792
工具、器具及び備品	70,199	73,264
減価償却累計額	△41,535	△44,052
工具、器具及び備品（純額）	28,664	29,212
土地	1,918,929	1,918,929
建設仮勘定	29,844	29,844
有形固定資産合計	2,792,123	2,783,459
無形固定資産		
商標権	1,073	1,033
のれん	13,461	11,778
無形固定資産合計	14,534	12,812
投資その他の資産	249,603	256,918
固定資産合計	3,056,261	3,053,190
資産合計	21,794,259	21,539,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	6,755,847	7,540,701
1年内返済予定の長期借入金	2,589,930	1,231,730
未払法人税等	542,468	351,377
賞与引当金	66,807	32,119
株主優待引当金	19,931	15,773
その他	512,265	748,788
流動負債合計	10,487,250	9,920,491
固定負債		
長期借入金	2,899,941	2,742,078
損害賠償損失引当金	18,051	18,051
その他	43,039	91,000
固定負債合計	2,961,031	2,851,129
負債合計	13,448,281	12,771,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	492,474	492,474
資本剰余金	705,342	705,342
利益剰余金	7,149,179	7,571,230
自己株式	△1,019	△1,019
株主資本合計	8,345,977	8,768,028
純資産合計	8,345,977	8,768,028
負債純資産合計	21,794,259	21,539,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,758,962	6,680,941
売上原価	3,127,342	5,022,005
売上総利益	631,619	1,658,935
販売費及び一般管理費	510,255	619,671
営業利益	121,363	1,039,263
営業外収益		
受取利息	50	357
助成金収入	2,136	1,829
その他	91	49
営業外収益合計	2,278	2,235
営業外費用		
支払利息	24,912	48,716
その他	4,314	4,271
営業外費用合計	29,226	52,988
経常利益	94,415	988,510
税金等調整前四半期純利益	94,415	988,510
法人税等	36,451	345,375
四半期純利益	57,963	643,135
親会社株主に帰属する四半期純利益	57,963	643,135

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	57,963	643,135
四半期包括利益	57,963	643,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,963	643,135
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,733,183	25,513	3,758,697	264	3,758,962	—	3,758,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,733,183	25,513	3,758,697	264	3,758,962	—	3,758,962
セグメント利益	218,225	7,036	225,261	264	225,526	△104,162	121,363

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△104,162千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,651,527	29,129	6,680,656	284	6,680,941	—	6,680,941
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,651,527	29,129	6,680,656	284	6,680,941	—	6,680,941
セグメント利益	1,159,512	14,275	1,173,787	284	1,174,072	△134,808	1,039,263

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△134,808千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
(自 2024年4月1日	(自 2025年4月1日
至 2024年6月30日)	至 2025年6月30日)

減価償却費	11,476千円	11,768千円
のれんの償却額	1,682 "	1,682 "

(重要な後発事象の注記)

(株式分割)

当社は、2025年5月13日開催の取締役会において、2025年7月1日付で株式分割を行う旨を決議し、以下のとおり実施いたしました。

(1) 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様が当社株式により投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ること、またそれに伴い株主優待制度による株主還元を向上することを目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2025年6月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有株式数を普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	2,834,793株
株式分割により増加する株式数	2,834,793株
株式分割後の発行済株式総数	5,669,586株
株式分割後の発行可能株式総数	8,000,000株

③ 分割の日程

基準日公告日	2025年6月13日
基準日	2025年6月30日
効力発生日	2025年7月1日